

【注意事項】

統合開発環境 CS+

概要

統合開発環境 CS+の使用上の注意事項を連絡します。

1. トレース・データをファイルに保存する場合の注意事項

1. トレース・データをファイルに保存する場合の注意事項

1.1 該当製品

(1) RL78 ファミリ用 IECUBE または RL78 ファミリ シミュレータを使用する場合

- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ(統合開発環境つき)
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00~V4.01.00
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00~V4.01.00

(2) RH850 シミュレータを使用する場合

- RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ(統合開発環境つき)
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00~V4.01.00、または CubeSuite+ 共通部分が V2.01.00 以降
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC
CS+ for CC 共通部分が V3.00.00~V4.01.00
- 【無償評価版】統合開発環境 CubeSuite+
CubeSuite+ 共通部分が V2.01.00 以降

1.2 内容

1000 フレーム以上のトレース・データをファイルに保存した場合、1000 フレーム毎に最後のフレームが同一の内容で 2 回保存される場合があります。

番号	時間	行番号/アドレス	ソース/逆アセンブル	アドレス	データ
997		r_main.c#122	func2a();		
997	00h00min04s989ms637us750ns	0x001ee	+6 CALL \$!_func2a		
998	00h00min04s989ms637us779ns			0xffe14	W 0
999	00h00min04s989ms637us812ns			0xffe12	W 497
999	00h00min04s989ms637us812ns			0xffe12	W 497
			_func2a:		
1000		r_main.c#127	void func2a(void)		
1000	00h00min04s989ms637us841ns	0x001fc	+0 MOVW AX,#0AH		

トレース番号 0 から保存して、トレース番号 999 に同一内容のフレームが出力されたケース

図 1 IECUBE を使用した場合の例

なお、本現象は、ファイルへのトレース・データ保存時の誤りに起因しており、CPU が同じ命令を 2 回連続して実行しているわけではありません。また、トレースパネルに表示されるデータについては、問題ありません。

1.3 発生条件

1000 フレーム以上のトレース・データをファイルに保存した場合に発生する可能性があります。

1.4 回避策

回避策はありません。

1000 フレーム毎に最後のフレームが同一の内容で 2 回保存されている場合、どちらか一方を削除してください。

1.5 恒久対策

CS+ V5.00.00 で改修します。(1 月 20 日公開予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.01.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。